

本調査研究は、モーターボート競走公益  
資金による財団法人日本船舶振興会の補助金を  
受けて実施したものです。

# 離島における民生の安定向上をはかるための 海上輸送体系の整備に関する研究

(壱岐・対馬)

— 報告書 —

昭和62年3月

財団法人 九州海運振興センター

# は し が き

本報告書は、当センターが（財）日本船舶振興会の昭和60年度～昭和61年度補助事業として長崎県壱岐・対馬を対象に実施した「離島における民生の安定向上をはかるための海上輸送体系の整備に関する研究」の成果をとりまとめたものである。

九州周辺には、約140にもものぼる離島が点在している。そこには、約75万人もの人々が生活を営んでおり、また、業務や観光で離島を訪れる人も多く、このような離島にあって、本土あるいは離島相互間の連絡、さらには離島への生活物資の補給等に海上輸送の果たす役割はきわめて大きいものがあるといえる。

現在、九州周辺には約110の離島航路があり、離島住民等の輸送にあたっているほか、多くの内航船が貨物輸送にたずさわっているが、いま、このような離島航路は、過疎化の進行に加えて、航空輸送網の整備の進展等のため旅客輸送が伸び悩むなど経営状況が悪化するなかで、航路サービスの改善のための特段の努力を要請されている。

このような状況のもとで、離島における海上交通体系のあり方を検討するため、当センターでは主要な離島を対象として調査研究を進めてきており、これまでに実施した長崎県の五島列島（下五島地区）、鹿児島県の甕島及び同県種子島・屋久島につづいて、60年度、61年度の両年度にわたり長崎県の壱岐・対馬を対象として調査研究を実施した。

本年度は、当該離島における効率的海上輸送体系の今後の課題を把握するため、離島住民の地域交通に関する意識調査、航路利用者意識調査を実施し、昨年調査結果と併せ壱岐・対馬航路の現状と課題を明らかにしたものであり、この報告書が関係者の方々にいささかなりともご参考になれば幸いである。

最後に、本調査研究に際して終始ご指導、ご協力を賜った委員各位、関係官公庁並びに関係業界の方々に、改めて謝意を表する次第である。

昭和62年3月

財団法人 九州海運振興センター  
会 長 邑 本 義 一

「離島における民生の安定向上をはかるための海上輸送体系の整備に関する研究」

委 員 名 簿

(順不同 敬称略)

委員長	河 地 貫 一	長崎大学名誉教授
委 員	大 西 一 美	大阪航空局福岡空港事務所長
”	永 留 剛	長崎県企画部運輸通信課長
”	山 田 信 廣	福岡市港湾局港営部長
”	松 村 文 甫	福岡地区旅客船協会会長
”	松 尾 勝	九州旅客船協会連合会専務理事
”	馬 崎 茂 義	九州運輸局運航部長
幹 事	藤 原 齊	九州運輸局福岡海運支局長
”	黒 木 雅 也	九州運輸局運航部輸送課長
”	山 口 迪	九州運輸局企画部貨物流通企画課長
事務局	清 水 照 久	九州運輸局運航部輸送課専門官
”	船 木 真 二	九州運輸局運航部輸送課専門官
”	弘 中 吉 昭	(財)九州海運振興センター調査役
集計解析	伊 藤 敏 安	(株)日本統計センター主任研究員

# 目 次

## 第Ⅰ章 調査の概要

1. 調査の目的	3
2. 調査の対象地域	3
3. 調査の体系	3
4. 調査の内容	4

## 第Ⅱ章 杵岐・対馬地域の概況

1. 沿革	7
2. 人口と就業構造	9
3. 産 業	14
4. 民 生	23

## 第Ⅲ章 杵岐・対馬地域の交通現況

1. 定期航路	29
2. 内航海運	36
3. 空 路	39
4. 域内交通	43
5. 港 湾	46
6. 類似離島との交通条件比較	52

## 第Ⅳ章 航路利用者意識調査結果

1. 調査概要	57
2. 対象者の構成	58
3. 利用者の流動状況	59
4. 航路の利用状況	64
5. 車両航送の状況	71

6. 航路のサービス・利便評価	73
7. 航路改善に対する要望	79

## 第V章 地域交通に関する住民意識調査結果

1. 調査概要	85
2. 対象者の構成	86
3. 島外への利用交通手段	87
4. 航路のサービス・利便評価	88
5. 運航形態に対する要望	97
6. 定期旅客フェリーと内航船の競合	103
7. 今後の需要見通し	104

## 第VI章 空路利用者意識調査結果

1. 調査概要	109
2. 対象者の構成	110
3. 利用者の流動状況	111
4. 空路の利用状況	114

## 第VII章 貨物流通と老岐・対馬航路

1. 一般内航船による貨物流動状況	120
2. フェリー・内航RORO船による貨物流動状況	128
3. 内航海運事業の動向	136
4. 水産物流通と老岐・対馬航路	139

## 第VIII章 老岐・対馬航路の現状と課題

1. 交通体系整備計画の概況	149
2. 老岐（印通寺）－呼子航路の現状と問題点	152
3. 博多－老岐－対馬航路の現状と問題点	154

4. 博多－対馬航路の現状と問題点	157
5. 小倉－比田勝航路の現状と問題点	159
6. 樽ヶ浜－仁位航路の現状と問題点	178
7. 今後の展望と課題	179

\*

参考資料	1. 航路利用者意識調査（A）調査票	187
	2. 航路利用者意識調査（B）調査票	191
	3. 空路利用者意識調査調査票	193
	4. 航路貨物流動調査調査票	195
	5. 地域交通に関する住民意識調査調査票（本土－壱岐航路）	199
	6. 地域交通に関する住民意識調査調査票（本土－対馬航路）	205

詳細は当センターへお問合せ下さい

**(財)九州運輸振興センター**

電話：092-451-0469

e-mail：info@kyushu-transport.or.jp